

重荷重舗装に対応したポリマー改質アスファルト

HTバインダー

物流拠点となるトラックターミナルや貨物ターミナルなどでは、輸送効率の改善を目的として、輸送車両や荷役車両が大型化されています。ここに従来のポリマー改質アスファルトを適用しても早期に流動変形してしまい、維持修繕に掛かるコストの増大が懸念されます。

HTバインダーは、重交通路線や重荷重が低速走行するコンテナヤードなどの舗装負荷条件の厳しい箇所において、高い塑性変形抵抗性を発揮する新しいポリマー改質アスファルトです。

1. 高い塑性変形抵抗性を有し、わだち掘れの発生を抑制

2. 長期耐久性によるトータルコストの削減

3. 従来のアスファルト混合物と同様の施工性

バインダ代表性状

項目	単位	代表性状	社内規格
軟化点	℃	87.5	85.0 以上
伸度(15℃)	cm	100+	50 以上
タフネス(25℃)	N・m	24	20 以上
針入度(25℃)	1/10 mm	53	40 以上
薄膜加熱質量変化率	%	-0.08	0.60 以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	81.1	65.0 以上
粗骨材の剥離面積率	%	0	5 以下
引火点	℃	330	280 以上
曲げ仕事量(-20℃)	kPa	318	100 以上



東亜道路工業株式会社

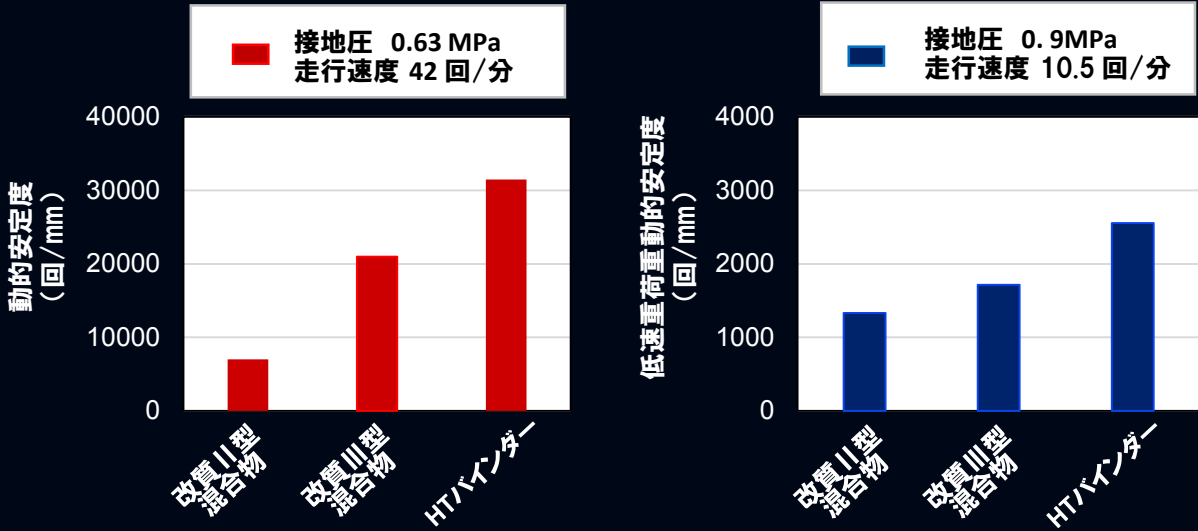
<https://www.toadoro.co.jp>

HTバインダー

高い塑性変形抵抗性（ホイールトラッキング試験）

HTバインダーは重荷重、低速条件でも、改質III型と比較して動的安定度が1.5倍

混合物：密粒度アスファルト混合物(13)



HTバインダーを用いたアスファルト混合物は、高い塑性変形抵抗性を示します。試験条件を厳しくしたホイールトラッキング試験において、ポリマー改質アスファルトII型およびIII型と比較しても、塑性変形抵抗性に優れた混合物が得られることがわかります。

施工

HTバインダーを用いたアスファルト混合物の製造および舗設に至るまでの推奨温度範囲を以下に示します。施工の際には外気温などを考慮して適切な温度管理をしてください。

推奨する製造および施工温度

項目		推奨温度(℃)
混合物製造時	混合温度	180±10
	敷均し温度	160 以上
舗設時	初期転圧温度	150 以上

TOA 東亜道路工業株式会社

<https://www.toadoro.co.jp>